

日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

MDC別施設間比較【退院患者】

(令和2年度実績：DPC対象病院・準備病院)

解説資料

作成：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4310号 山岸義彦
編集：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美

資料No.20220531-1207(00)

本資料は、令和4年3月23日の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます

資料解説

本資料は、令和4年3月23日の中央社会保険医療協議会(中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織 (DPC評価分科会))で公開された資料を参考にグラフ化しました。データの転記には注意していますが、本資料をご利用の際は併せて公開資料の確認もお願いいたします。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043_00005.html

< MDC別施設間比較 > に関して

- ・データの出典元：1- (14) 在院日数の平均の差_MDC別、2- (2) MDC別医療機関別件数
- ・「在院日数の平均の差」は、医療機関別、施設類型別での集計表。
- ・MDC別医療機関別件数(割合)は、様式1の手術があったものを「有り」として集計しています。
- ・集計対象病院：令和元年度のDPC対象病院および準備病院。

< グラフ説明 >

- ・施設名の頭の㊸㊹㊺㊻は、令和元年度の大学病院本院群、特定病院群、標準病院群、準備病院を示しています。
- ・グラフの縦軸(件数)は、他の都道府県と比較するため最高値をMDC毎に、原則固定しています。
- ・縦軸を固定しているため、最高値を超えている施設が対象(10施設未満)の場合は、縦軸(件数)の最高値を変更しています。
- ・表示スペースの関係上、医療機関名は原則10文字以内に省略しています。
- ・医療機関の表示順は、二次医療圏ごとに令和元年度の件数の多い順で掲載しています。

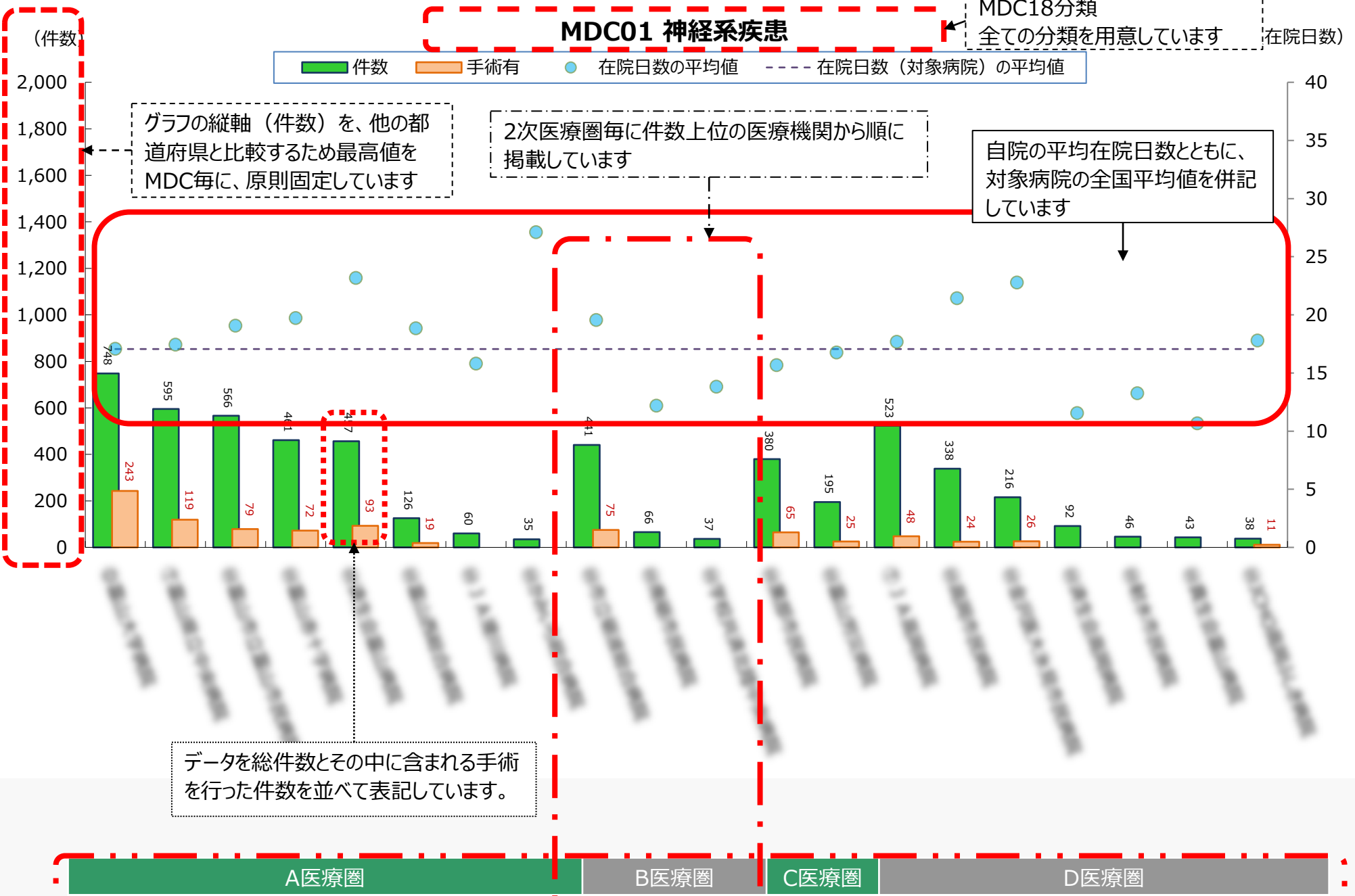
○ 震災等の影響による医療機関データの取り扱い

以下、震災等の影響により提出データの一部月もしくは全月のデータが不足している。

- ・平成28年(2016年)熊本地震による影響 東熊本病院
- ・令和2年7月豪雨による影響 医療法人蘇春堂球磨病院

MDC01 神経系疾患

MDC18分類
全ての分類を用意しています (在院日数)



MDC別施設間比較【退院患者】資料から判ること

MDC18分類毎に入院件数とそこに含まれる手術件数を2次医療圏毎に件数の上位順に表記しており、自院の立ち位置を確認できます。

MDC分類毎に入院患者の内容（手術の有無）を把握することができます。

MDC分類毎に、自院の平均在院日数を、全国の平均値とともに比較することができ、効率性係数の大まかな目安として確認することができます。

縦軸（件数）の最高値をMDC分類毎に原則固定することで、別の都道府県の医療機関と比較することもできます。

47都道府県全ての資料をご用意しております。

Stu-GEサイト内では、病院名が公開されるため、ダウンロード用資料は掲載しておりません。もし、ご興味いただきましたら、担当MRにご請求いただくか、Stu-GEサイト最下にあり、[「お問い合わせ」](#)をクリックいただき、[「お問い合わせフォーム」](#)より資料をご請求ください。日医工MRが資料をお届けいたします。



「お問い合わせフォーム記入例」

お問い合わせ内容：「厚労省・厚生局データのご請求」を選択

資料の対象都道府県：「〇〇県」

お問い合わせ本文：「1207 MDC別施設間比較【退院患者】」